Y構 通信Ｉ21

Victory勝

平成３０年　２月　９日（金）
沖縄県立与勝緑が丘中学校
沖縄県立与勝高等学校
校長　東盛　敬

如　月　★　ながる

中高１・２年生の学年末考査本日終了、ただインフルエンザ欠席者への改めてテスト実施予定も！

ひとつの大きな節目となる来週、Ｙ校を牽引してきた高３生の自宅学習期間開始、学校の空気はガラリと変わるはずです。さらに中３生の関西修学旅行、中２生の勤労体験学習実施は来週水曜日より。「時」は一気に押し寄せ、高３生は２７日（火）出校日、２８日（水）リハーサル、３月１日（木）第３６回卒業式、そして高校入試期間には高２生関東修学旅行（希望者）、１６日（金）中３生卒業証書授与式に至ります。平成２９年度は２３日（金）修了式・離任式にて締め括られ……、ＬＨＲ。

来週からの最終舞台新たなる幕開けに「九州高等学校文化連盟小倉百人一首かるた専門部会長あいさつ」をご紹介致します。どうかＹ校生、保護者の皆様、教職員への「おもい」に重ねて読み進めて頂ければ幸いです。そしてこの「おもい」、卒業式式辞にしたため、しめくくる所存です。

第１回全九州高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門大会　★　あいさつ　★　H29.12/15（金）

第１回全九州高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門大会が九州８県の最南県、沖縄で開催されますことを深く感謝申し上げ、また九州各県大会を勝ち上がり本日ご参集頂いた代表生徒の皆さんを心より歓迎いたします。

「受け継がれる英知　芽吹く創造　南風に乗って今咲き誇る」の主テーマのもと、「百人一首の競技力向上を図るとともに、参加生徒の交流を図り、親睦を深めて 各県における普及の一助とする」ことが本大会の目的です。第１回大会でございますので、改めて目的にある「百人一首」「競技力」「普及」について申し上げたく存じます。

辞書を紐解くと「小倉百人一首」は「藤原定家が京都の小倉山荘で撰したと伝えられる百首の和歌（１歌人１首）が札に記されている」ことに起因し、内容は「文暦２(1235)年にまとめられた『百人秀歌』をもとに成立。『古今和歌集』『千載集』『新古今和歌集』などの勅撰和歌集から選んだ百人の代表歌」です。作品に込められた「先人のおもい」は「三十一文字」に凝縮され、平成の御世にも時空の広がりをもち伝わっていることに驚きを覚えます。これは芸術の根本が「天然の人為的模倣」であり、「日本の美」が「言葉の積み上げ」ではなく、限られた「場」を前に「小さな言葉に大きな世界をまとめ、封じ込め」ることにより「永遠に伝わる」ものとなるとの小説家浅田次郎氏の言葉（H29.10.27 第 61 回九州地区高等学校国語教育研究大会福岡大会記念講演）に重なります。

本大会は「競技」大会であります。この「競技」という工夫により、「日本の美」は後世へと引き継がれます。日本文化の礎であることから高文連の位置づけには異論はございません。ただ長時間の集中と姿勢保持に加え、「静」から「動」への俊敏な判断と行動力を高める「心技体」の鍛錬、相対する者への「礼」に始まり「礼」に終わる「道」の精神もその場には貫かれます。帝塚山大学教授の西山厚氏の「正倉院宝物に学ぶ」という講演（H29.11.1 全国普通科高等学校長会第 67 回総会・研究協議会奈良大会）にて、「土の中から出てきたものが『出土品』、先人たちの強い選択が働いて意識して残そうとしてきたものが『伝世品』」との説明が脳裏に蘇ります。

同じく奈良にて　７番歌「あまのはら　ふりさけみれば　かすがなる　みかさのやまに　いでしつきかも」

阿倍仲麻呂が異国の地から思いを馳せた「三笠山にかかる月」を見たのはまさに「春日大社のこの一角である」と花山院家第３３代当主、花山院弘匡宮司は境内を案内されながら話されました。瞬間、視野が大きく広がる感覚にとらわれ、伝承する「和歌」を支える「日本」への感謝の念が胸に染み込んできました。実はこのような体験こそが「日本の美」を己の心に再開花させ、「行き過ぎるグローバル社会」に飲み込まれない「冷静なる思考」の構築を促すのではないでしょうか。ここに古典を学ぶ意義があり、「九州をひとつ」に、「日本をひとつ」にする原動力たる「ことば」が存在します。すると「普及」の担い手はまさにここに集う皆さんであり、それぞれが「ことば」を心から楽しむことにあります。

実は本県には本大会を運営する専門部がございません。よって大会開催にあたっては、鹿児島県の出川専門委員長を始め、九州各県の先生方にご尽力頂き、心より感謝申し上げます。結びに、本大会における各県代表お一人おひとりを歓迎するとともに活躍と健闘をお祈り申し上げ挨拶と致します。

★今後の主な行事日程★

★如月　卒業★　「三寒と　四温をめぐり　時流る　３６期　いざ羽ばたかむ」校長

H30年	２月	９日（金）	中○給食○・学年末考査Ⅲ・⑥	<考査：理･体･数･⑥：金曜６>
			高早朝講座・〃　Ⅲ	<考査：各　学　年>高３①②③:礼法歌・④⑤⑥:ＬＨＲ
		１０日（土）	高２★センター早期対策模試　Ⅰ	
		１１日（日）	建　国　記　念　の　日	
		１２日（月）	振　替　休　日	
		１３日（火）	中○給食○・1･2･3･4･総･L	<月曜授業・朝：生徒会（役員引継式）総：3年修学旅行結団式>
			高早朝講座・〃　･5･6	<〃　> 高３就職・進学準備期間～26日
		１４日（水）	中○給食○・1･2･3･4･5･6･7	<45分授業> 中２修勤労体験・中３修学旅行～16日
			高早朝講座・〃	<〃　>